

認知症の学習

～みんなでささえよう！～

今の子どもたちが今のお父さんお母さんぐらの年齢（40さいくらい）になるころは、3人に1人が65歳の成熟しゃかいいになると予想されているそうです。そこで、今日は、社会福祉協議会の方を講師に迎え、4年生が認知症について学びました。

認知症とは脳の病気で、時間や月日、場所などが分からなくなったり、道に迷ったり、元気がなくなったり・・・様々な症状がでます。しかし、①驚かせない②急がせない③自尊心を傷つけない等に配慮して関わることで、症状が改善したり、症状の進行が緩やかになったりするのだそうです。

学習後、認知症サポーター小学生養成講座を修了した印に、オレンジリングをいただきました。ぜひ実践につなげましょう。

